様式１別紙１－３　（No.　　）

令和　　　年　　　月　　　日

指定研修機関名

**特定行為研修計画の概要**

|  |
| --- |
| 区分別科目の概要（特定行為区分ごとに記載）　　　 |
| １．特定行為区分の名称（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　 |
| ２．区分別科目の到達目標の設定の有無　　　　　　有　　　　　・　　　　　無 |
| ３．区分別科目の研修方法および時間数 | 　区分別科目の時間数の総計（⑤＋⑩） |  | 時間 |
|  | １）共通して学ぶ事項について | ⑤小計(④の合計） |  | 時間 |
|  | 共通して学ぶ事項 | ①（独自の科目名がある場合は括弧書きで記入） | ②研修方法 | ③評価（上段：時間数、下段：方法を記入） | ④時間数の合計 |
|  |  | 講義（時間数） | 演習（時間数） | 実習（症例数） |
|  |  | 時間数 |  |  |  |  |  |
|  | 場所 | 自　・　協 | 自　・　協 | 自　・　協 |  |
|  | ２）特定行為ごとに学ぶ事項について | ⑩小計（⑨の合計） | 時間 |
|  | 特定行為ごとに学ぶ事項 | ⑥特定行為名（独自の科目名がある場合は括弧書きで併記） | ⑦研修方法 | ⑧評価（上段：時間数、下段：方法を記入） | ⑨時間数の合計 |
|  |  | 講義（時間数） | 演習（時間数） | 実習（症例数） |
|  |  | 時間数又は症例数 |  |  |  |  |  |
|  | 場所 | 自　・　協 | 自　・　協 | 自　・　協 |  |
|  |  | 時間数又は症例数 |  |  |  |  |  |
|  | 場所 | 自　・　協 | 自　・　協 | 自　・　協 |  |
|  |  | 時間数又は症例数 |  |  |  |  |  |
|  | 場所 | 自　・　協 | 自　・　協 | 自　・　協 |  |
|  |  | 時間数又は症例数 |  |  |  |  |  |
|  | 場所 | 自　・　協 | 自　・　協 | 自　・　協 |  |
|  |  | 時間数又は症例数 |  |  |  |  |  |
|  | 場所 | 自　・　協 | 自　・　協 | 自　・　協 |  |
|  | 　３）症例数として含まれる実習以外の研修方法 |

備考

１　右上の「指定研修機関名」は、指定研修機関の指定を受けようとする施設等の名称を記入すること。

２　様式１別紙１－３は、特定行為研修を行おうとする全ての特定行為区分について、特定行為区分ごとに記入し、1部作成すること。

３　「３．区分別科目の研修方法および時間数」の「時間数」の単位については、時間で記入すること。「区分別科目の時間数の総計」は区分別科目ごとの時間数の総計を記入すること。

４　「３．区分別科目の研修方法および時間数」の１）共通して学ぶ事項について、独自の科目名がある場合は①に括弧書きで記入すること。

５　「３．区分別科目の研修方法および時間数」の２）特定行為ごとに学ぶ事項については⑥に特定行為名を記入すること。独自の科目名がある場合には、括弧書きで併記すること。

６　「３．区分別科目の研修方法および時間数」の「場所」については、自施設又は協力施設の該当する項目を選択すること（両方に該当する場合は、両方選択すること）。研修を行う場所が、指定研修機関の指定を受けようとする施設の場合は、自施設を選択すること。「自」は自施設、「協」は協力施設の意味とする。

７　「３．区分別科目の研修方法および時間数」の「②・⑦研修方法の実習（症例数）」については、経験すべき症例数を記入すること。

８　「３．区分別科目の研修方法および時間数」の「③・⑧評価」については、上段に時間数、下段に評価方法を記入すること。評価方法は、通知の別紙７に示す評価方法（筆記試験、実技試験、観察評価）を書くこと。

９　「３．区分別科目の研修方法および時間数」の「３）症例数として含まれる実習以外の研修方法」がある場合に、研修の方法を具体的に記載すること。通知の５.（５）②の患者に対する実技を行う実習の前に行うペーパーシミュレーション、ロールプレイ、模擬患者の活用、シミュレーターの利用等のシミュレーションによる学習については、ここに記載すること。

10　記入欄が足りない場合は、行を追加し記入すること。なお、複数の特定行為区分の研修を行う場合や、特定行為区分の概要が複数頁にわたる場合は「（No.　）」に通し番号を記入すること。